

第2回日本認知症の人の緩和ケア学会学術集会 演題採択一覧

セッション名	発表日	セッション時間	演題番号	演題登録番号	演題名
優秀演題	4月26日(日)	9:00～10:00	A-1	10015	せん妄・行動心理症状を呈した高齢認知機能低下者への緩和ケア事例
優秀演題	4月26日(日)	9:00～10:00	A-2	10020	せん妄・行動心理症状を呈した独居高齢者に対するおかえりプロジェクトと活動の質評価法(A-QOA)を用いた多職種連携介入
優秀演題	4月26日(日)	9:00～10:00	A-3	10014	認知機能障害によるBPSDのために身体拘束を要した高齢者への看護援助
優秀演題	4月26日(日)	9:00～10:00	A-4	10002	外科的治療を拒否する認知機能低下患者への意思表示支援ー患者の価値観を多職種で共有し、納得した治療選択へ導いた認知症ケアチームの介入ー
優秀演題	4月26日(日)	9:00～10:00	A-5	10005	ロールプレイによる学びを活かすせん妄スコアシート活用と転倒アクシデント予防
一般演題1	4月26日(日)	10:10～11:10	O1-1	10003	訪問診療に同行している看護師と院内認知症ケアチームとの連携 ～継続した生活を送るための看護実践～
一般演題1	4月26日(日)	10:10～11:10	O1-2	10007	在宅認知症介護における看取り過程で家族が経験する曖昧な喪失と悲嘆
一般演題1	4月26日(日)	10:10～11:10	O1-3	10019	認知症治療薬「レカネマブ」の投与に伴う葛藤に対する 患者と家族への心理的支援を軸とした多職種介入の試み(第2報)
一般演題1	4月26日(日)	10:10～11:10	O1-4	10017	認知症高齢者の「家にいたい」を支援するということの一考察
一般演題1	4月26日(日)	10:10～11:10	O1-5	10011	もの忘れ外来初回診察における事前電話問診の実践 ～全人的視点に基づく援助的コミュニケーションのアプローチ～
一般演題2	4月26日(日)	11:20～12:20	O2-1	10006	せん妄を発症した患者に関する倫理事例カンファレンスが看護実践に与える影響の検討-パーソン・センタード・ケア理論を用いた事例分析-
一般演題2	4月26日(日)	11:20～12:20	O2-2	10018	認知症の人における誤嚥性肺炎のillness trajectoryの中で再考された治療のあり方
一般演題2	4月26日(日)	11:20～12:20	O2-3	10004	認知症者の病状悪化予防に向けた取り組み
一般演題2	4月26日(日)	11:20～12:20	O2-4	10009	急性期病院における身体的拘束最小化の取り組み～訪問型アクティビティケア(音楽体操)の効果～
一般演題2	4月26日(日)	11:20～12:20	O2-5	10010	二次救急病院における認知症の人の身体的苦痛に着目した緩和ケア実践
一般演題3	4月26日(日)	12:30～13:40	O3-1	10000	認知機能が低下した高齢者が骨折後も自宅で生活するための支援:円滑な自宅退院に至った事例から
一般演題3	4月26日(日)	12:30～13:40	O3-2	10001	医療処置の中止を希望した終末期にある高齢患者へのかかわり
一般演題3	4月26日(日)	12:30～13:40	O3-3	10008	「施設入居中の認知症高齢者への創傷ケアに対する困難感を抱く看護師への実践報告」
一般演題3	4月26日(日)	12:30～13:40	O3-4	10013	臍胸手術を受ける認知症患者の意思決定支援～「やらない」という言葉の背景を支える～
一般演題3	4月26日(日)	12:30～13:40	O3-5	10016	レビー小体型認知症をもつ女性のスピリチュアルペイン ー手記の質的内容分析を通してー
一般演題3	4月26日(日)	12:30～13:40	O3-6	10012	認知症をもつがん患者に対する疼痛評価:日本語版DOLOPLUS-2活用上の課題